

いち早く桜が満開！

市民参加オブジェ「狭山ふるさと自慢を桜の花で」

今回、市民参加型のオブジェとして、自慢できる狭山のモノ・コト・ヒトを花びらに書いてもらい桜の花を咲かせる企画を立てました。子どもからお年寄りまで、文団連会員、ご家族、ご来場の皆様のご協力で、400近くの桜の花が咲きました。2月27日の前日準備の段階で八分咲きに、芸術祭最終日の3月1日には、満開の桜で大ホールロビーを飾ることができました。

企画展示・模擬店・ミニステージの会場への入口で、皆さんの目に留まりやすく、自分の書いた「ふるさと自慢」は何処かな？と、立ち止まって探されていた方もおられました。



市民の皆様が自慢する狭山、ベスト3は！

1. 美味しい狭山茶 2. 入間川の美しい風景 3. 稲荷山公園とその桜

加えて、緑豊かな自然がいっぱい、秩父連山・富士山の山並み、智光山公園、など狭山の自然の美しさを自慢にしている様子がうかがえました。また、七夕まつり、航空ショーなどのお祭りや、名産の里芋や里芋コロケも自慢です。

その他、市民の笑顔・人情が温かい街、災害の無い安全な街、ホンダがある街、としても市民の皆さんは捉えられており、「狭山の駅に降りたら、お茶の香りが漂うといいなあ」という素敵な要望もありました。

オブジェ担当になってからは、市民会館に出かけて掲示の場所を探したり、ホームセンターに行って桜の幹の材料を探したり、寝てもオブジェのことが頭から離れず、時間があると桜の花びらを切っていました。大ホールロビーで「ワーきれい！」「桜の花満開ね」「私のあったー！」と喜んでいらっしやる姿に私も感動…

オブジェ担当 板屋捷子

常任理事会便り

文団連の総力を挙げて取り組んだ設立15周年記念の市民芸術祭が終わりましたが、ほっと息つく間もなく、新役員候補選出や来年度の総会準備に追われています。そんな中で、3月15日に芸術祭の打ち上げが、賛助会員である「日本料理 三ゆう」で行われました。出演者やスタッフの感想を聞いていると、皆さんの精一杯の努力により芸術祭の運営ができていたことを改めて認識すると同時に、我が文団連の団結力と会員の底力の強さを感じ、次回開催へ向けての活力をもらいました。

来年度の総会は以下の日程で行います。今回は登録会員団体の方々にもぜひ出席(傍聴)していただき、文団連の活動をより身近に感じていただきたいと思います。

平成27年度定期総会 日時：5月24日(日) 10:30 (10:00 受付開始)
会場：富士見集会所 第2集会所

小川事務局長